

# 明治時代の狛犬 「石茂型」を制作

芳村石材店

寺社の石工事などを手 真。

掛ける芳村石材店（京都 市上京区）は先頃、依頼

「石茂型」と呼ぶもので、全 石茂型狛犬は、明治時

主の要望で北野天満宮 体に大きく丸みがあり、 代、北野天満宮をはじめ

（同区）の狛犬と同じ姿 毛並みの美しい尻尾が特 とする京都市内の多くの

の狛犬を制作した。写 徴だ。同店当主の襲名 神社に納められていたと

いう。同宮では楼門前の 階段脇に鎮座した大きな

狛犬のほか、境内3カ所 に建立されている。

名古屋市在住の依頼主

は、以前にも芳村石材店 回制作された狛犬は、毎 宮の狛犬を現地で調査。 で狛犬を制作。自宅の鬼 年参拝に訪れる北野天満 粘土で精巧な原型を作っ 門よけに置いている。今 宮で見つけた中で一番厳 た後、古代ギリシヤに起

しく、気高さ 源を持つ「星取り法」で を感じたとい 一つ一つ丁寧に転写し、

う一対で、芳 長い時間をかけて白御影 村石材店の作 石に彫刻した。

品だと知り 完成した狛犬は台座を 「玄関先に邪 含めた高さ約44センチ、幅約

気払いとして 18センチ。

置きたい」と 同店の山田俊行社長は

再び制作依頼 「お客さまと彫刻家さん

した。 と私どもの思いがちな

彫刻を手掛 り、石茂型狛犬が素晴ら

けた島根県在 しい彫刻としてよみがえ

住の石彫刻家 り、とてもうれしい」と

は、北野天満 話している。

